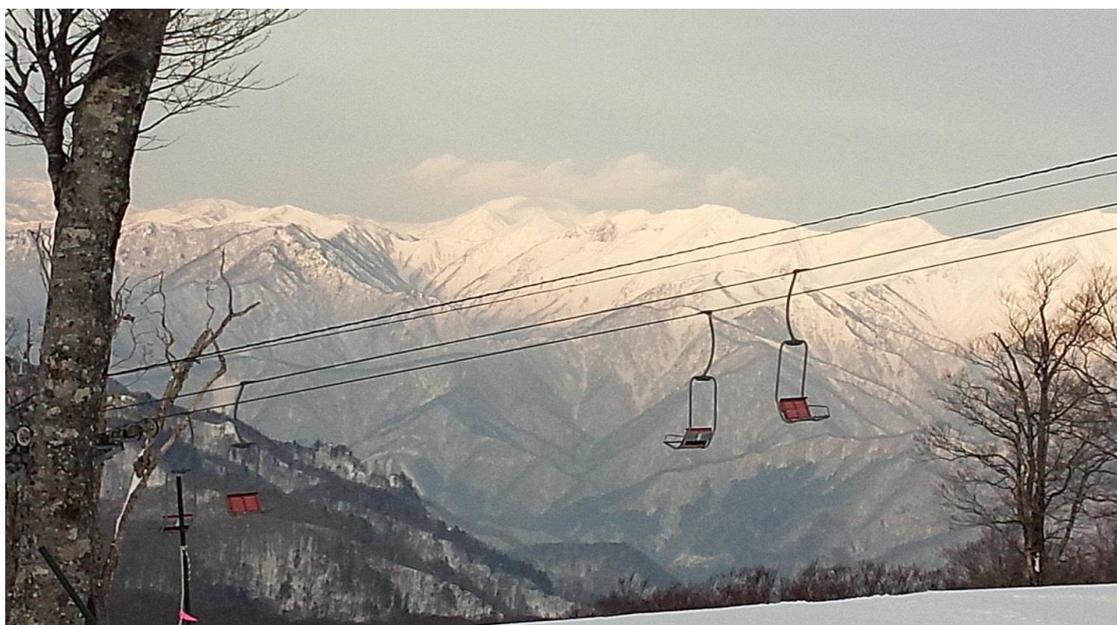




# 安全報告書(2017)

たんばらスキーパーク

第1Aトリプルリフト  
第1Bペアリフト  
第2クワッドリフト  
第3ペアリフト  
第4ペアリフト  
第5ペアリフト



玉原東急リゾート株式会社

## 1. 利用者の皆様へ

日頃より、たんばらスキーパークをご利用頂き、また、弊社索道事業にご理解を頂き誠に有難うございます。

弊社は、スキー事業理念において【お客様の安全確保】を第一に掲げ、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底など、安全輸送に最大限努めております。

2016～2017年シーズンもお陰様で数多くのお客様にご来場を頂きまして、無事終了しましたことをご報告させていただきます。

来るシーズンにつきましてもご来場頂いたお客様が安心してご利用頂けるよう、全社一丸となって安全確保に努める所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解を頂くために公表するものです。皆様からの声を更なる輸送の安全に役立てたく積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

玉原東急リゾート株式会社

代表取締役社長

磯目 伸二

## 2. 安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知、徹底しております。

- 1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- 2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程(本規程を含む。以下、「法令等」という。)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- 4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、その取扱いに疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- 5) 事故、災害等が発生した場合、その状況を冷静に判断し、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- 7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦いたします。

## 3. 索道運転事故発生状況

### 1) 索道運転事故

2016年度は、国土交通省への索道運転事故、人身事故の報告はありません。

2) 災害(地震・暴風・豪雪など)

2016年度は、災害による運行停止はありません。

尚、強風による運行停止は安全確保のため、状況により実施致しました。

3) インシデント(事故の前兆)

2016年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

#### 4. 安全確保のための取組

1) 安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

2016年度の主要整備実施項目

第1Aトリプルリフト	握索機解体整備、通常整備
	索受装置解体整備(7・9号支柱)ブッシュピン交換等
第1Bペアリフト	握索機解体整備、通常整備
第2クワッドリフト	通常整備
	索受装置解体整備(23号柱)ブッシュピン交換等
	握索機解体整備(40台)
	サイリスタ盤内遮断器交換
第3ペアリフト	握索機解体整備、通常整備
第4ペアリフト	握索機解体整備、通常整備
第5ペアリフト	握索機解体整備、通常整備、セフティーバー取付(全搬器)

通常整備 : 全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2017年度の主要整備計画項目

第1Aトリプルリフト	原動滑車・折返滑車ゴムライナー交換
	索受装置解体整備(6号支柱)ブッシュピン交換等
第1Bペアリフト	握索機解体整備、通常整備
第2クワッドリフト	通常整備
	索受装置分解整備(10・11・17・18号支柱)ブッシュピン交換等
	油圧緊張ユニット更新、セフティーバー更新(全搬器)
	握索機解体整備(40台)
第3ペアリフト	握索機解体整備他、通常整備
第4ペアリフト	握索機解体整備他、通常整備
第5ペアリフト	握索機解体整備他、通常整備

通常整備 : 全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

## 2) 人材教育

当社では、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前及び営業期間中についても、社員及び経験者の指導による施設の仕様及び、リフト運行取扱についての安全教育及び、各種研修会に積極的に参加しています。

- \* 夏季勤務前研修（実施日6/24～7/27、計5回 20名参加）
- \* 冬季勤務前研修（実施日11/25～3/4、計15回 81名参加）
- \* 関東鋼索交通協会研修参加（実施日6/2～6/3、参加者3名）
- \* 索道社内研修（実施日7/4～7/5、参加者2名）
- \* 普通救命講習（実施日12/7、22名受講）

## 3) 訓練

毎年スキーシーズン前及びシーズン中にリフトの救助訓練を実施しています。

救助訓練実施状況

- \* 夏季救助訓練（実施日6/24～7/27、計5回 20名参加）
- \* 冬季救助訓練（実施日11/25～3/4、計15回 81名参加）

【社長訓示】



【予備原動機救助訓練】



【夏季勤務前救助訓練】



【冬季勤務前救助訓練】

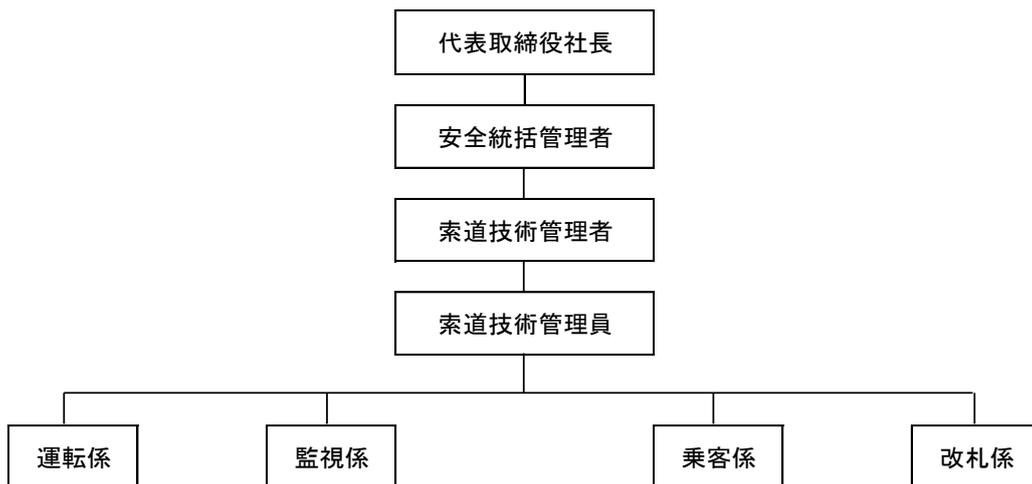


## 5. 安全管理体制図

2012年4月に「安全管理規程」を改正し、社長をトップとする安全管理体制を構築しております。  
この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。  
尚、各管理者の役割は下記の通りです。

代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

### 【体制図】



## 6. 終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ、努力してまいりました。  
これを踏まえ、来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用頂けます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、更なる安全管理の向上を図って参ります。  
この報告書を2016年度の安全報告書とさせていただきます。